



ぜ、儲楷野漁研一諺

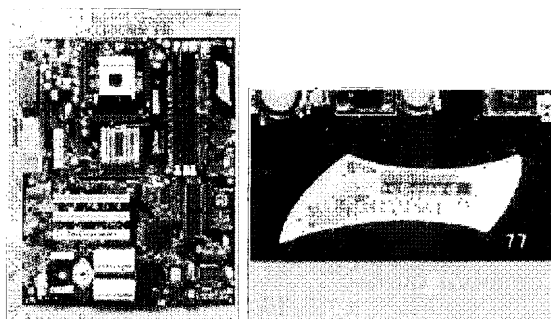
縦槻ノ木隆のPC実験室忙

真空管アンプ搭載マザー「AopenAX4B533 - TUBE」を試す

今年6月のCOMPLTEXTAIBEIでAOpenのブースに展示され、その発想の奇抜さで話題を集めたのが「AX4B - 533Tube」である。一見通常のアンプに見えるが、オーディオのアナログ出力に真空管を利用したアンプ搭載するという、非常に「アナログ」なマザーボードである。その効果はいかほどなものか、という事で早速ためしてみた。

マザーボード上に真空管アンプを実装

AOpenから登場した全英 州533Tubeは、同社製品であるAX4Eト533（日本では未発売）をベースとし、サウンド出力部に真空管アンプを搭載したPentium4 / Celeron向けマザーボードである。真空管を使ったオーディオアンプといえば、懐かしさを覚える読者もおられるだろうが、広く普及した半導体アンプや、最近主流のデジタルアンプには無い「味」を求めて、今も一部のオーディオマニアの間では使われているし、そうした層を狙った製品や組み立てキットも今なお存在している。本製品では、PCIスロット3本とCNRスロットをAX4B - 533から取り除き、空いた場所に真空管アンプを実装。AC ' 97Codecのオーディオ出力をここに直結することで、「味のある音声出力」ができることをウリとしている。



AOpenのAX4B - 533デジタルとアナログの融合Tube。上部3分の2をを成功させたことを示す見れば普通のATX「TubeSoundマザーだが、下部がTI三ト1NOI . OGY」のエンブちょっと異様な光景 レム

【追記】ネットさ汀良畔...ニ コープ！ノムの数字がシヤアルナンバ・ t、チあるという記威がありまLたが、読者か：凋じ号し7)ゴ'こ了--べ、葵・持)ていぞ、ヒト、 ニ 教示がし机 々々いこしプー)で削嫁いたしました、ニ

なお、本製品は現在では入手がかなり困難となっている。それもそのはずで、本製品はAOpenの生d二で「100枚限定予約販売」という形態を取られたからだ。本来は日本市場に投入するつもりがなかったため、このような限定販売になったそうだが、それだけ日本国内での販売を望む声があったということだろう。購入価格は25,000円（その後米国からの直輸入品が秋葉原の店頭でも並んだ）。

真空管アンプ搭載という時点で、イロモノ的な匂いがしてくるこの製品だが、限定予約販売というオマケがついて、さらに食指を動かされる製品となっている。マザーボード上には真空管アンプ搭載をア